

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会

第7回輸送・交通専門委員会 議事録(概要)

1 日時

令和6年(2024年)2月1日(木)10:00~11:30

2 場所

滋賀県大津合同庁舎7階 7-D会議室

3 出欠状況(五十音順、敬称略)

委員18名中17名出席

出席:一松 郁夫、今井 和幸、岩崎 真二郎、越後 敏夫(代理:福島 森)、片山 彰一、田中 郁代(代理:小山 晋吾)、谷口 正明(代理:豊田 智隆)、辻 保徳、中島 喜久夫、中島 智史(代理:山岡 勇)、中嶋 義基、西川 忠、野口 明、野村 義明、松尾 武文、松本 康一郎(代理:堤 喜雄)、南 良和

(事務局:辻事務局長ほか事務局職員5名)

欠席:佐藤 貴志

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

○ 報告事項(1)

※事務局から、「燃ゆる感動かごしま国体・大会 視察報告」について説明。

【質疑・提言】

(委員)

- ・鹿児島中央駅は新幹線の終点であり、新大阪―鹿児島中央駅間は臨時列車で1編成全て選手団という状況であった。
- ・障スポでは競技会や閉会式の終了が遅い時間になるため、歩行動線上の照明も重要。
- ・ポッチャは障害の重い選手が多く、福祉タクシーでの輸送が必須のため、しっかりと確保願いたい。
- ・バスを降りてから競技場内へ移動する際に、距離が遠かったり道が悪かったりすると、移動に時間や手間がかかるため、配慮をお願いしたい。

(委員)

- ・資料では電車からプラットホームに架けるスロープの設置は駅係員が行い、車いすの介助等は帯同されている方が行っているように見えるが、駅係員が対応した業務について教えていただきたい。

(事務局)

・駅係員にはスロープの設置をお願いし、車いすの移動は同じ選手団の方が、その他誘導は県職員の主導で行っていた。なお、車いす選手のエレベータでのホーム階・改札階の移動については、駅係員がインカム等を使用して連携されていたため、今後調整させていただきたい。

(委員)

・通常のオペレーションでは席まで係員が案内しているが、主な業務となるのはスロープの設置であり、その他必要となるところは今後調整するということで理解した。

報告事項(2)について、非公開とすることを野村委員長から提案。承認。

○ 報告事項(2)

※事務局から、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 第1次輸送実施計画(案)」について説明。

※輸送・交通専門委員会会議公開方針第2条第2項(1)に基づき、非公開で報告。

○ その他

※事務局から、「今後のスケジュール」について説明。

【質疑・提言】 なし

以上